



共に生きるコミュニティスクール

地域と一緒に地震から身を守ろう

城原小学校



6月に防災出前授業を山口大学大学院創成科学研究科の麻生稔彦教授をお招きして行いました。地域の皆さんも参加してくださいました。

児童は防災についての事前学習に取り組み、当日も真剣に活動していました。その姿から、地震を決して他人事として考えてはいないことがわかりました。また、今回の学習では、地震に伴う土砂崩れに気を付けることや、地震が起きた際は、パニックにならず落ち着いて避難すること、日頃から想像力を働かせ、自ら考えて行動することが、いざという時に命を守ることにつながることを学びました。



城原小学校では、年3回、地域と連携した防災教育に取り組みます。

地域の皆さんに支えられて

秋吉小学校

秋吉小コミュニティ・スクールも5年目を迎えました。5月には学校運営について、運営協議会委員や保護者代表・教職員で熟議を行いました。



今年度も①学力の向上をめざした授業づくり、家庭学習の充実②思いやりの心・豊かな心を育てるためのあいさつの励行、きまりの遵守③健やかな体を育てるための体力向上、基本的な生活習慣の確立、食育の推進を軸に取り組みます。



具体的には、①運営協議会委員による授業参観と評価②運営委員児童を中心としたあいさつ運動③柔軟性や筋力アップ運動、すこやかカードでの生活チェック、給食指導を中心とした食育などに取り組んでいます。

盆踊り教室・絵手紙教室

豊田前中学校

本校はコミュニティ・スクールや豊田前地域協育ネット活動を推進し、地域と共に子どもを育てています。学習環境整備やふれあい体験など学校支援ボランティアにお越しいただく機会が多くあります。



ジオ学習の一環として7月に実施した盆踊り教室と絵手紙教室では、地域の人を講師にお招きし、ご指導いただきました。小学生と一緒に練習した盆踊り・炭坑踊りを9月の小・中合同運動会で披露する予定です。生徒たちは絵手紙教室にも一生懸命に取り組み、力作ぞろいの出来栄えに指導者からお褒めの言葉をいただきました。



今回も地域のお年寄り約40人に心のこもった暑中見舞い状としてお送りしました。生徒にとって豊かな心を育む貴重な体験となりました。

美祿市教育委員会から 発信します

この夏休み中に、全ての中学校区において小学校と中学校の教職員が集まりました。そこでは、小学校1年の入門期から、中学校3年の「15歳の春」を見通した「9年間の学びと育ち」について活発な話し合いが行われ、共通理解を図ることができました。

「コミュニティ・スクール」は、家庭や地域と共に歩む学校です。ですから、まず小学校と中学校の9年間でどのような心を育み、どのような力をつける教育活動を進めていくのかという小・中学校を貫く大きな柱を立てることが大切です。

子どもたちの幸せを願う教職員の話し合いは、とても熱心で有意義なものとなりました。2学期以降の各学校での取り組みにますます磨きがかかります。



於福小・中合同研修会



